

買い物環境実態アンケート調査結果報告書
関連資料

平成 27 年 3 月
笠 間 市

買い物環境実態アンケート調査結果報告書関連資料 目次

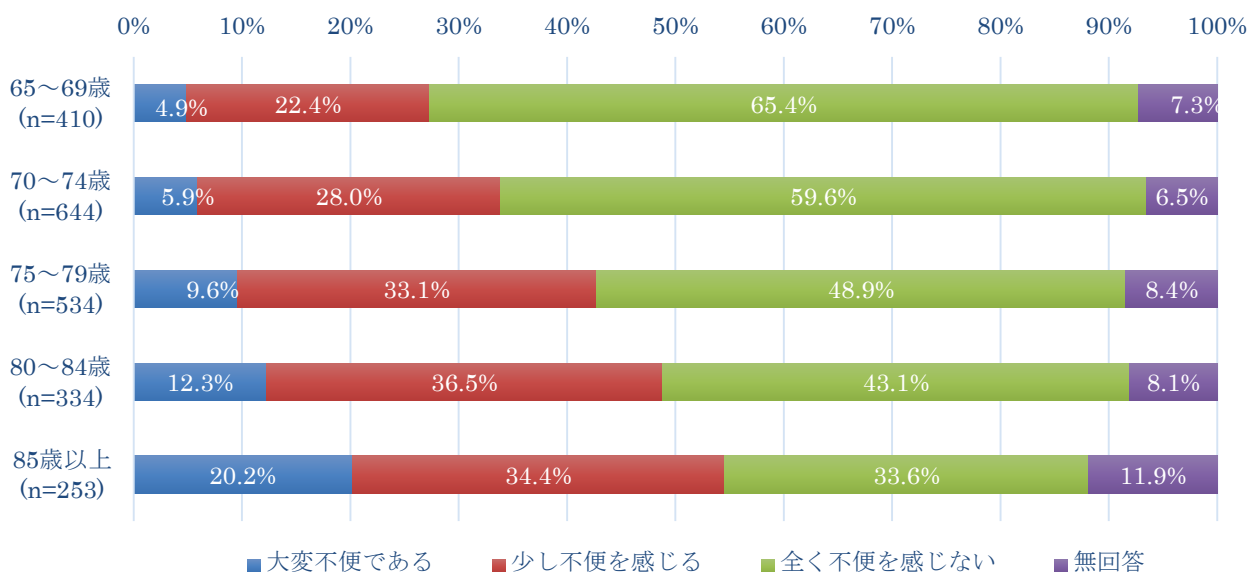
1. 買い物不便感と各質問との相関関係	1
(1) 年齢と買い物不便感の相関関係	
(2) 家族構成と買い物不便感の相関関係	
(3) 移動手段と買い物不便感の相関関係	
(4) 移動時間と買い物不便感の相関関係	
2. 地域と各質問との相関関係	3
(1) 地域と年齢の相関関係	
(2) 地域と家族構成の相関関係	
(3) 地域と移動手段の相関関係	
(4) 地域と移動時間の相関関係	
(5) 地域と買い物不便感の相関関係	
(6) 地域と移動販売への関心度の相関関係	

1. 買い物不便感と各質問との相関関係

買い物不便感と各質問（年齢、家族構成、移動手段、移動方法）をクロス集計することで、どのような状況で、どれくらい買い物に不便感を感じているかを明らかにすることで、買い物弱者対策の対象を検討するための参考資料といたします。

(1) 年齢と買い物不便感の相関関係

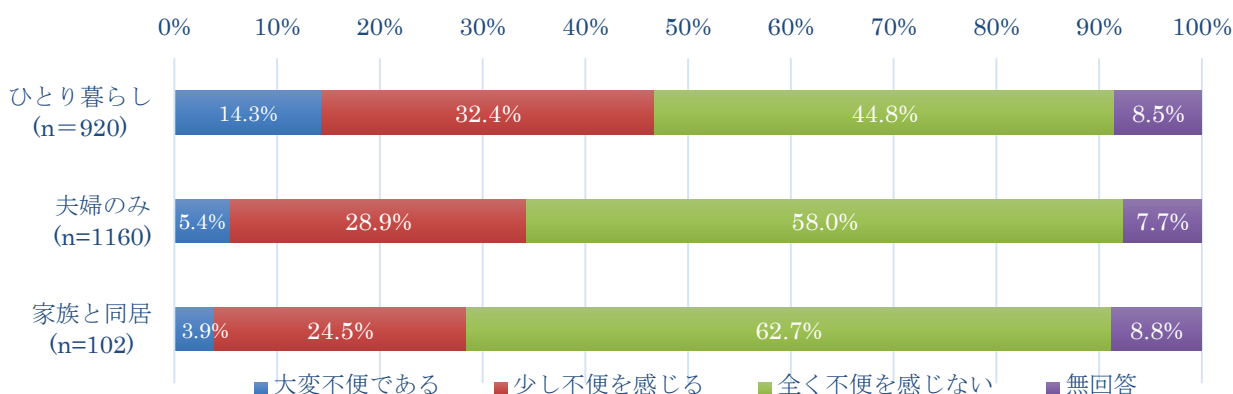
年齢と買い物の不便感の相関関係のグラフは、以下のとおりとなっています。



・「65歳～69歳」では「全く不便を感じない」が65.4%と高い割合となっていますが、「75歳～79歳」では48.9%と50%を割り込んでいます。高齢になるにつれて不便感を感じる割合が増える傾向にあります。

(2) 家族構成と買い物不便感の相関関係

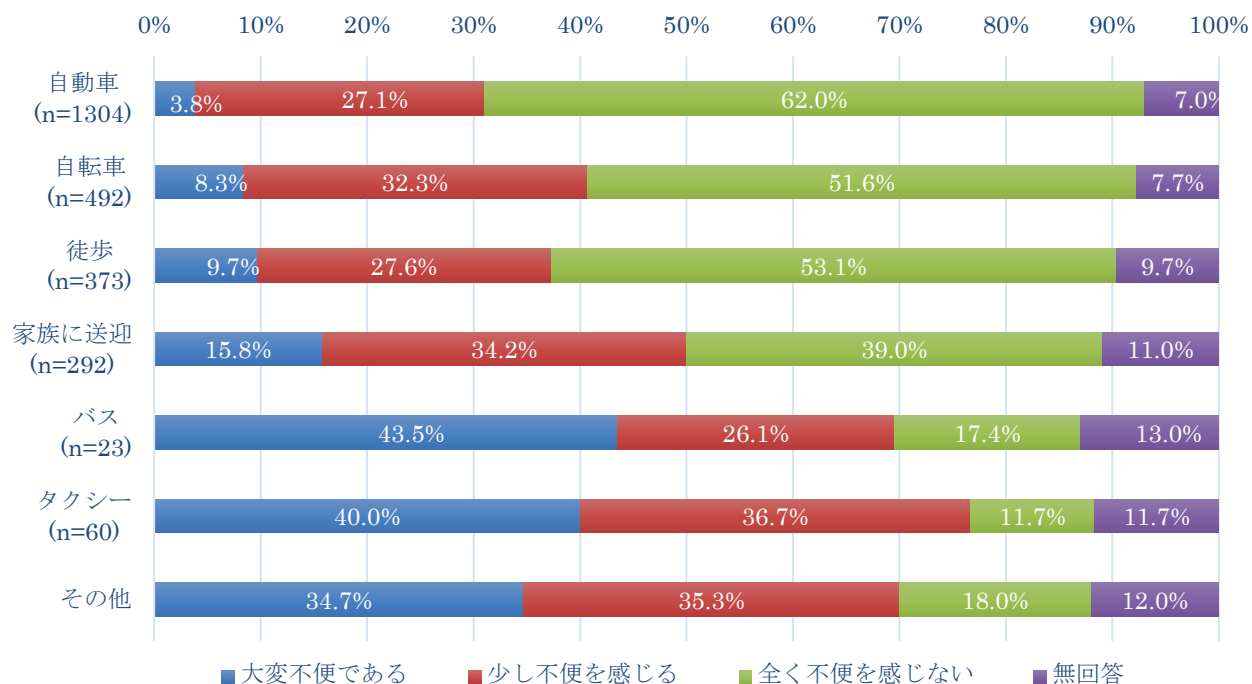
家族構成と買い物の不便感の相関関係のグラフは、以下のとおりとなっています。



・「夫婦のみ」、「家族と同居」では「全く不便を感じない」が約60%となっていますが、「ひとり暮らし」では「大変不便である」、「少し不便を感じる」を合わせた比率が46.8%となり、「全く不便を感じない」を超えています。

(3) 移動手段と買い物不便感の相関関係

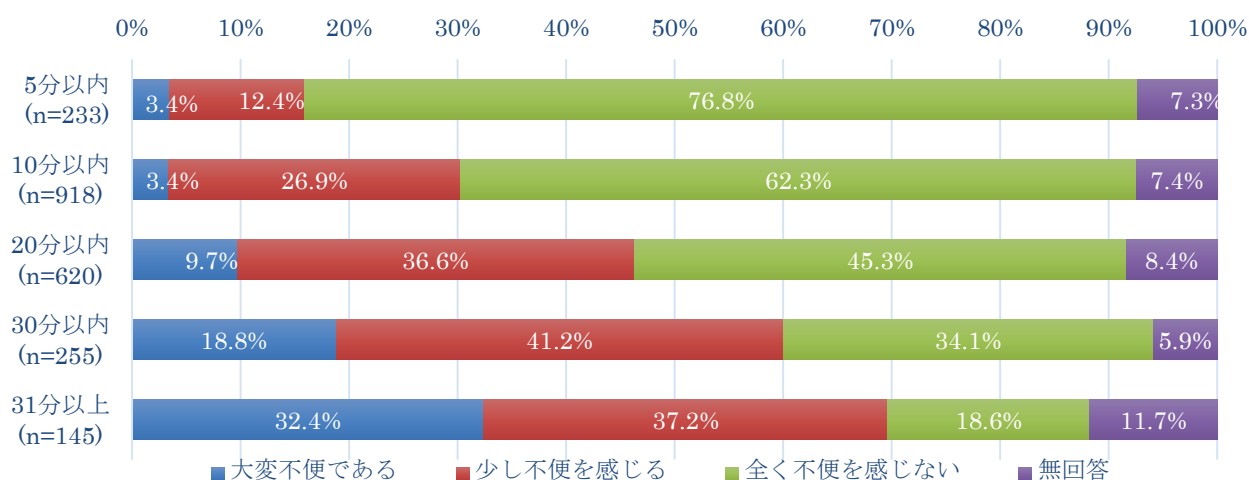
移動手段と買い物の不便感の相関関係のグラフは、以下のとおりとなっています。



・「徒歩」や「自転車」、「自動車」で自ら買い物に行くことができて、約30%から40%が買い物に不便を感じています。「バス」や「タクシー」では、70%前後が買い物に不便を感じています。

(4) 移動時間と買い物不便感の相関関係

移動時間と買い物の不便感の相関関係のグラフは、以下のとおりとなっています。



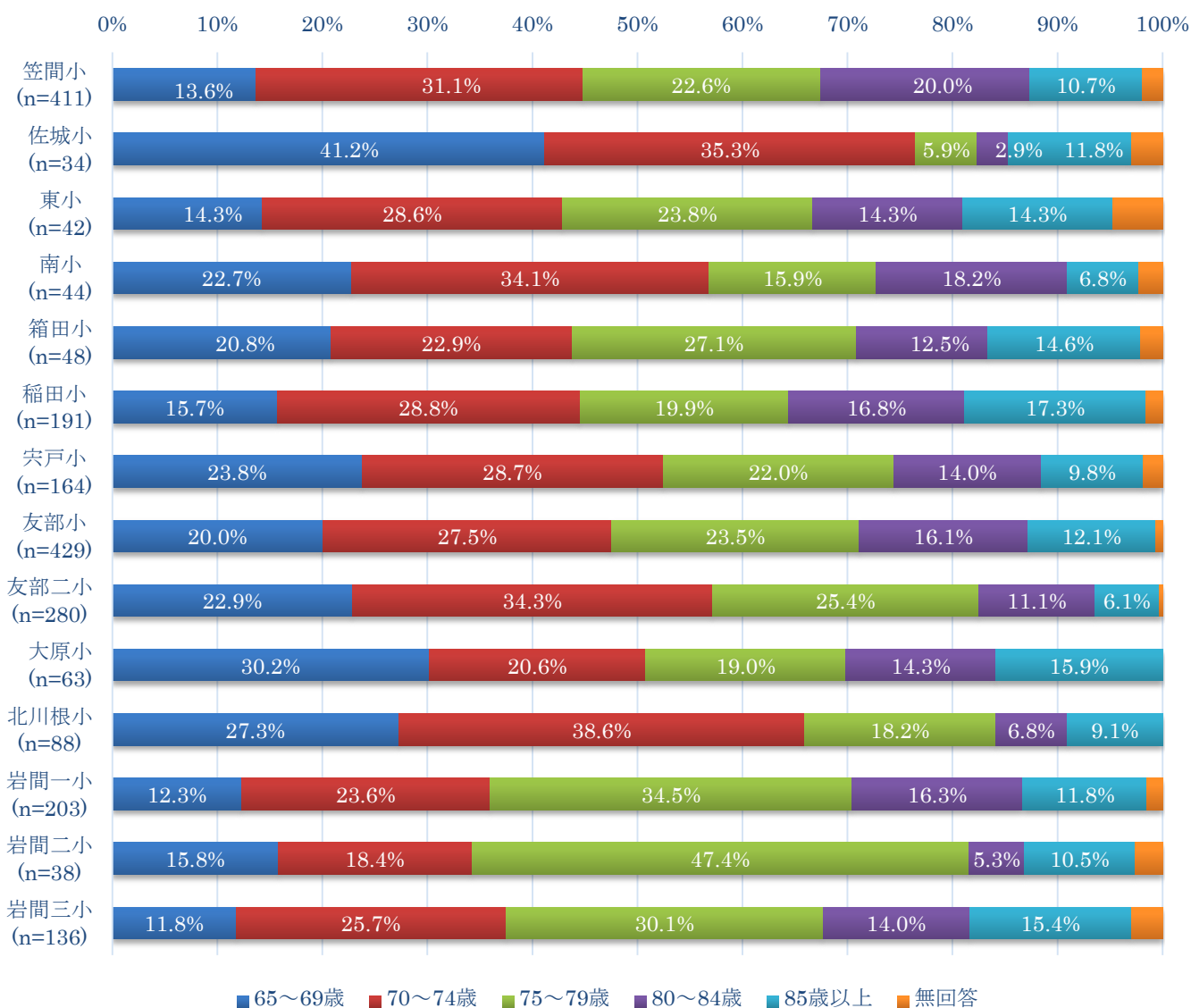
・「5分以内」では不安を感じているが15.8%、「10分以内」では30.3%となっていますが、「20分以内」では46.3%と「全く不便を感じない」45.3%を超えています。移動時間がかかるほど、買い物に不便を感じる割合が増えています。

2. 地域と各質問との相関関係

大字別のお住まいの地域を小学校区別に分類のうえ、各質問(年齢、家族構成、移動手段、買い物の不便感)をクロス集計することで、地域特性、地域実態を明らかにし、買い物弱者対策の対象地域を検討するための参考資料といたします。

(1) 地域と年齢の相関関係

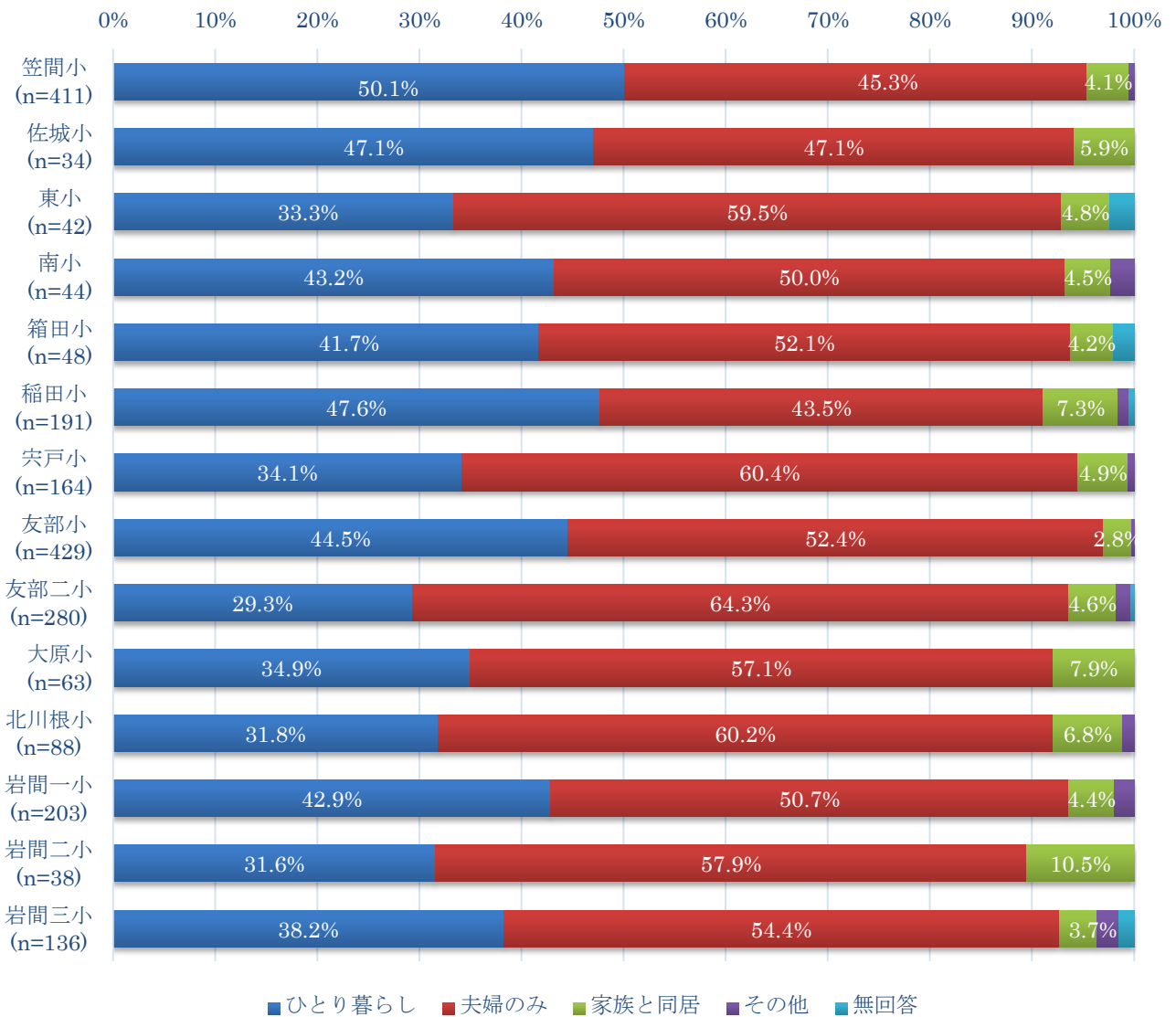
地域と年齢の相関関係のグラフは、以下のとおりとなっています。



・岩間地区では、「65歳～69歳」で構成される世帯の割合が低く、75歳以上で構成される世帯の割合が約60%と高くなっています。

(2) 地域と家族構成の相関関係

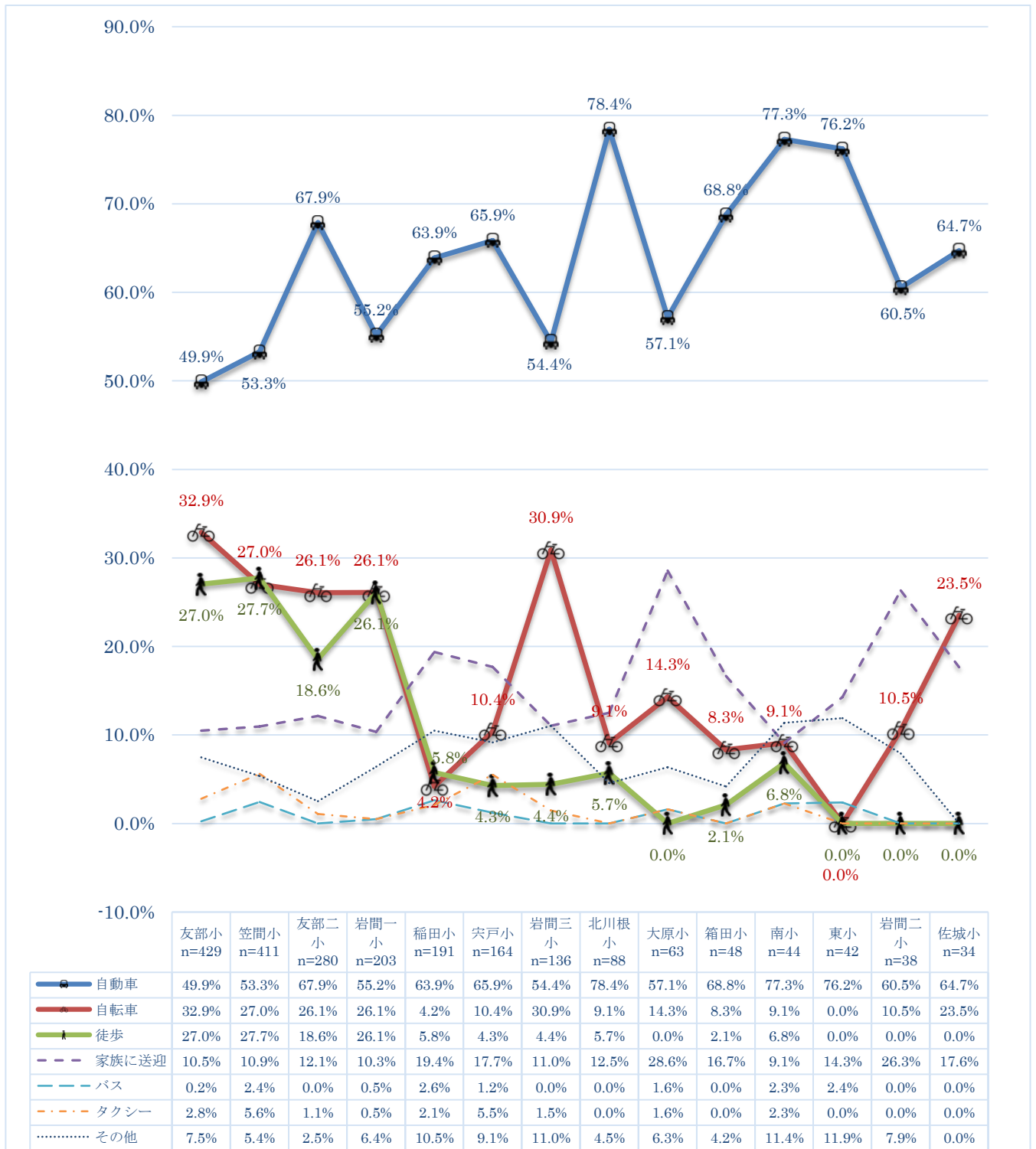
地域と家族構成の相関関係のグラフは、以下のとおりとなっています。



・「ひとり暮らし」の割合は笠間小学校区が50.1%と最も高くなっています。笠間地区は東小学校区を除いてすべて40%以上と高い比率となっています。

(3) 地域と移動手段の相関関係

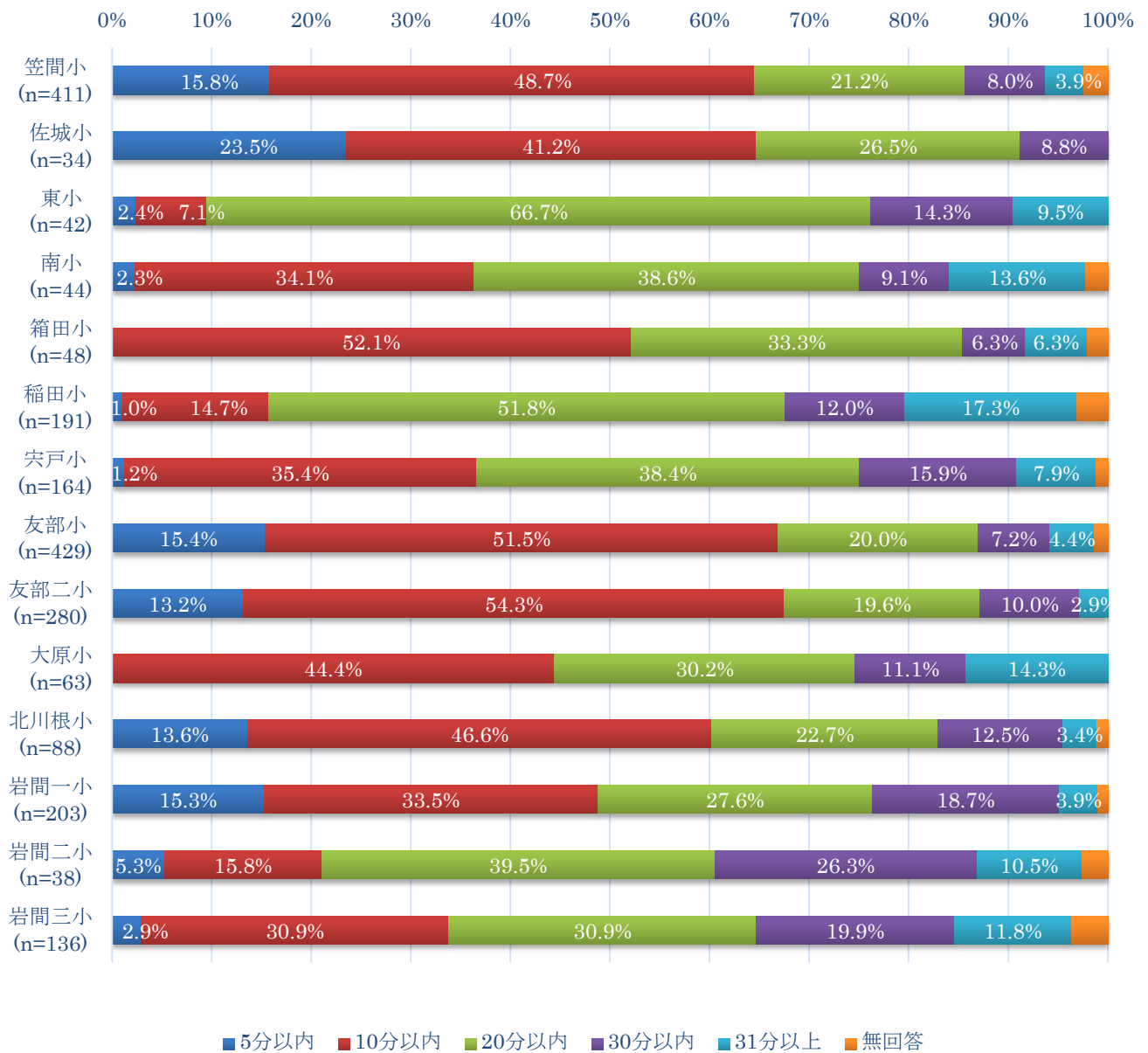
地域と移動手段の相関関係のグラフは、以下のとおりとなっています。



・「徒歩」、「自転車」で自ら買い物に行くことができる割合が40%以上の地区は、笠間小学校区、友部小学校区、岩間一小学校区の3小学校区となっています。一方、20%以下が8小学校区と身近な場所に買い物をする場所がないことがうかがえます。

(4) 地域と移動時間の相関関係

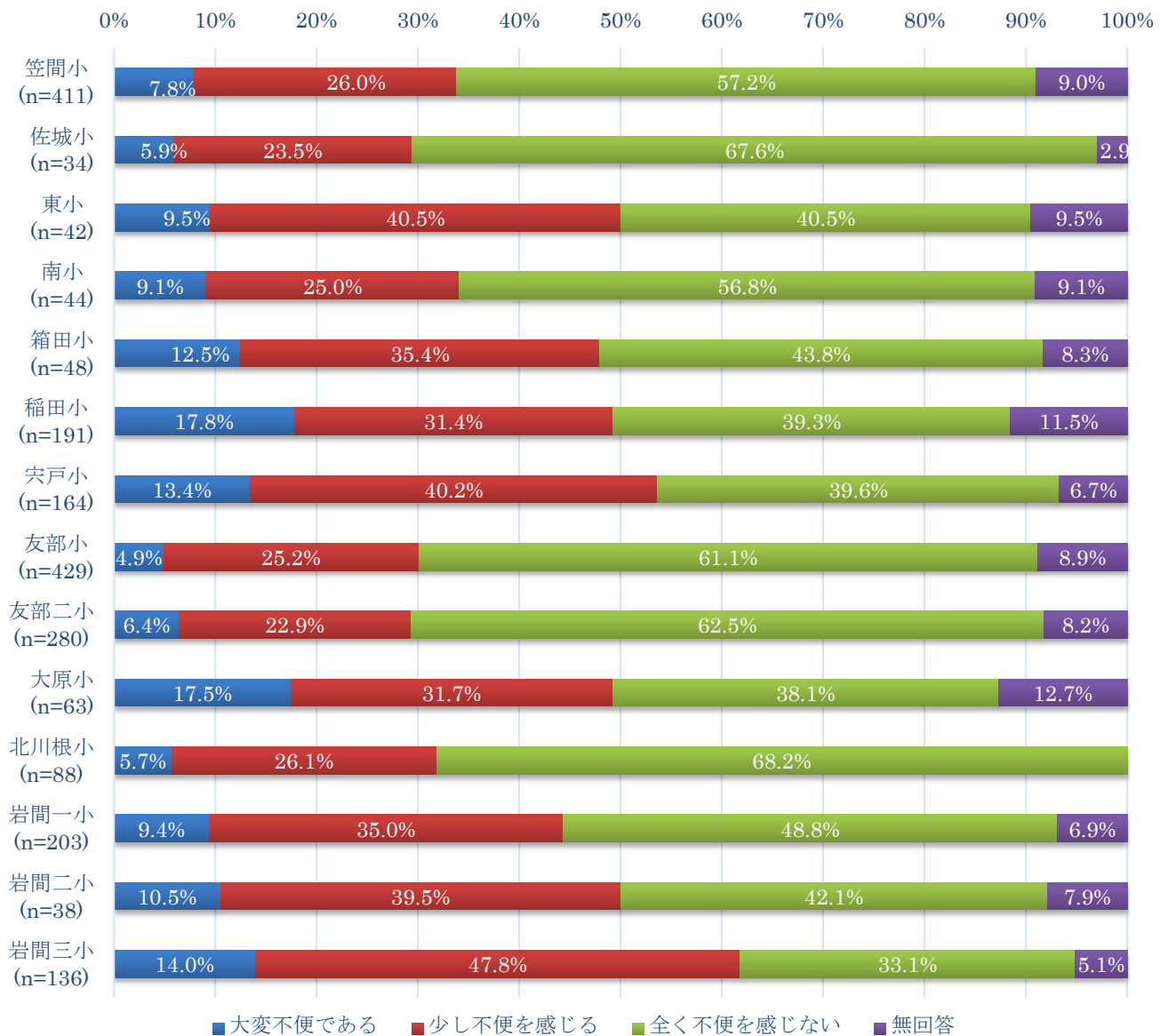
地域と移動時間の相関関係のグラフは、以下のとおりとなっています。



・「5分以内」、「10分以内」を合わせた比率が40%以下となっている小学校区が6小学校区となっています。このうち、稲田小学校区と東小学校区は20%以下となっています。

(5) 地域と買い物不便感の相関関係

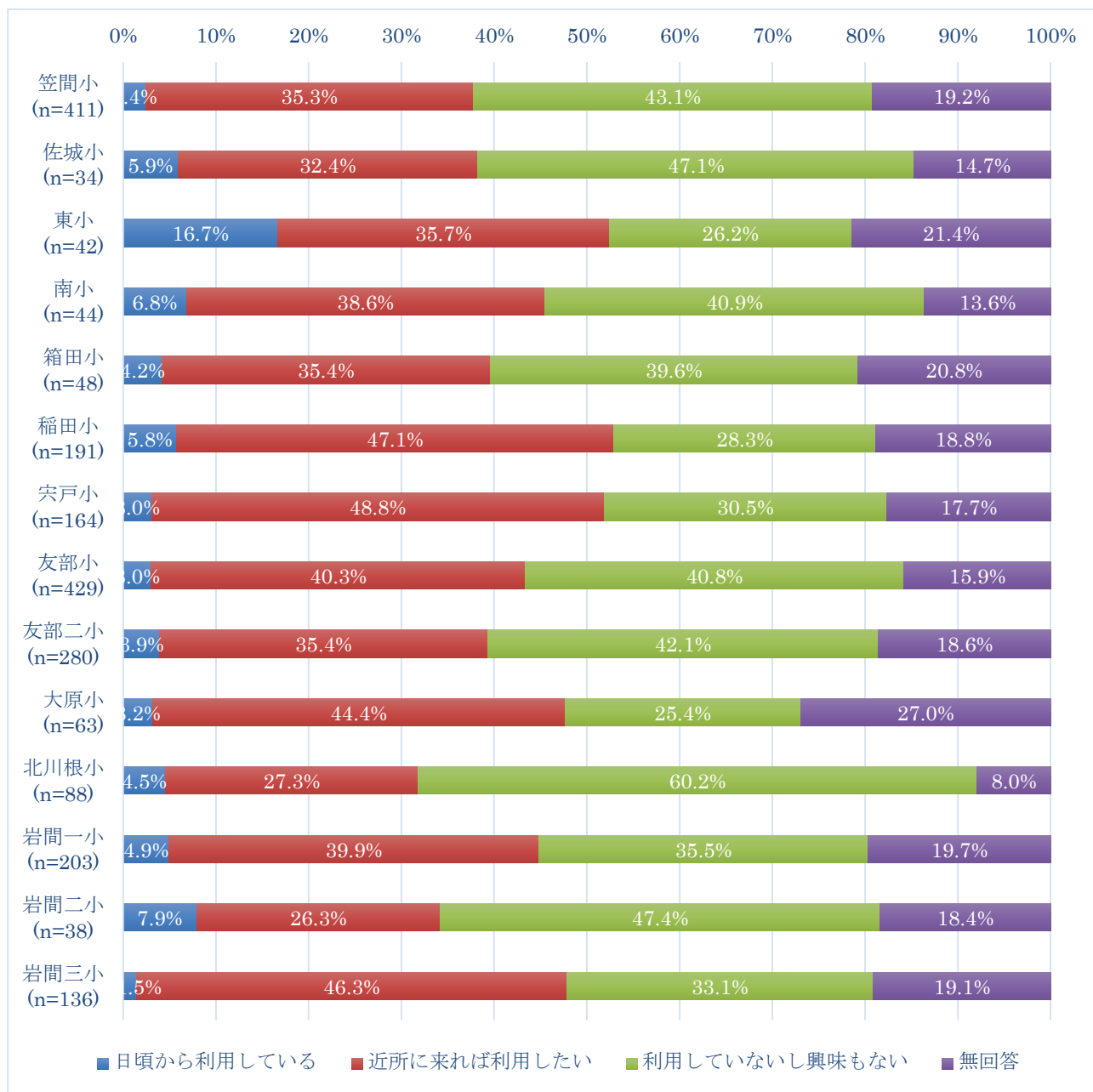
地域と不便感の相関関係のグラフは、以下のとおりとなっています。



・買い物に不便感を感じている割合は、岩間三小学校区が61.8%と最も高くなっています。「大変不便である」の割合では、稲田小学校区と大原小学校区が高い割合となっており、約17%となっています。

(6) 地域と移動販売への関心度の相関関係

地域と移動販売への関心度の相関関係のグラフは、以下のとおりとなっています。



買い物環境実態と買い物に関する実感度、求められる買い物支援対策についてさらに分析し、実効性のある対策を講じていきたいと考えております。

今後も、買い物対策へのご理解、ご協力くださいますようお願いいたします。